

44.5m ブーム+17.5m SLジブ

(7.6m)

アウトリガ最大(7.6m)張出(側方、後方)

ブーム 角度 (°)	オフセットA		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)
84	8.0	1.50	13.7	1.00	18.1	0.70	19.9	0.35
80	12.9	1.40	18.2	0.90	22.1	0.65	23.6	0.35
77	16.5	1.25	21.3	0.85	25.0	0.60	26.3	0.35
75	18.7	1.20	23.4	0.85	26.9	0.60	28.0	0.35
73	20.9	1.15	25.5	0.80	28.7	0.60	29.7	0.35
70	24.1	1.05	28.6	0.80	31.3	0.55	32.0	0.35
68	26.2	1.00	30.5	0.75	33.1	0.55	33.5	0.35
65	29.3	0.95	33.2	0.70	35.5	0.55	35.8	0.35
63	31.3	0.90	35.0	0.70	37.1	0.55	37.2	0.35
60	34.1	0.70	37.5	0.55	39.3	0.50		
危険角度	58°		58°		59°		62°	
標準フック	5tフック(フック質量:120kg)							
巻掛本数	1							

(7.2m)

アウトリガ中間(7.2m)張出(側方)

ブーム 角度 (°)	オフセットA		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)
84	8.0	1.50	13.7	1.00	18.1	0.70	19.9	0.35
80	12.9	1.40	18.2	0.90	22.1	0.65	23.6	0.35
77	16.5	1.25	21.3	0.85	25.0	0.60	26.3	0.35
75	18.7	1.20	23.4	0.85	26.9	0.60	28.0	0.35
73	20.9	1.15	25.5	0.80	28.7	0.60	29.7	0.35
70	24.1	1.05	28.6	0.80	31.3	0.55	32.0	0.35
68	26.2	1.00	30.5	0.75	33.1	0.55	33.5	0.35
65	29.3	0.95	33.2	0.70	35.5	0.55	35.8	0.35
63	31.3	0.90	35.0	0.70	37.1	0.55	37.2	0.35
危険角度	62°		62°		62°		62°	
標準フック	5tフック(フック質量:120kg)							
巻掛本数	1							

(6.5m)

アウトリガ中間(6.5m)張出(側方)

ブーム 角度 (°)	オフセットA		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)
84	8.0	1.50	13.7	1.00	18.1	0.70	19.9	0.35
80	12.9	1.40	18.2	0.90	22.1	0.65	23.6	0.35
77	16.5	1.25	21.3	0.85	25.0	0.60	26.3	0.35
75	18.7	1.20	23.4	0.85	26.9	0.60	28.0	0.35
73	20.9	1.15	25.5	0.80	28.7	0.60	29.7	0.35
70	24.1	1.05	28.6	0.80	31.3	0.55	32.0	0.35
68	26.2	1.00	30.5	0.75	33.1	0.55	33.5	0.35
65	29.3	0.95	33.2	0.70	35.5	0.55	35.8	0.35
危険角度	64°		64°		64°		64°	
標準フック	5tフック(フック質量:120kg)							
巻掛本数	1							

(5.4m)

アウトリガ中間(5.4m)張出(側方)

ブーム 角度 (°)	オフセットA		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)
84	8.0	1.50	13.7	1.00	18.1	0.70	19.9	0.35
80	12.9	1.40	18.2	0.90	22.1	0.65	23.6	0.35
77	16.5	1.25	21.3	0.85	25.0	0.60	26.3	0.35
75	18.7	1.20	23.4	0.85	26.9	0.60	28.0	0.35
73	20.9	1.15	25.5	0.80	28.7	0.60	29.7	0.35
70	24.1	1.05	28.6	0.80	31.3	0.55	32.0	0.35
68	26.2	1.00	30.5	0.75	33.1	0.55	33.5	0.35
65	29.3	0.95	33.2	0.70	35.5	0.55	35.8	0.35
63	31.3	0.90	35.0	0.70	37.1	0.55	37.2	0.35
危険角度	72°		72°		72°		72°	
標準フック	5tフック(フック質量:120kg)							
巻掛本数	1							

(4.3m)

アウトリガ中間(4.3m)張出(側方)

ブーム 角度 (°)	オフセットA		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)
84	8.0	1.50	13.7	1.00	18.1	0.70	19.9	0.35
80	12.9	1.40	18.2	0.90	22.1	0.65	23.6	0.35
77	16.5	1.25	21.3	0.85	25.0	0.60	26.3	0.35
危険角度	78°		78°		78°		78°	
標準フック	5tフック(フック質量:120kg)							
巻掛本数	1							

アウトリガ張出(前方)

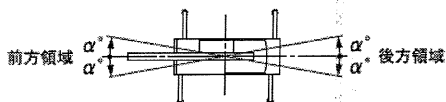
ブーム 角度 (°)	オフセットA		オフセット25°		オフセット45°		オフセット60°	
	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)	作業半径 (m)	荷重 (ton)
84	8.0	1.50	13.7	1.00	18.1	0.70	19.9	0.35
80	12.9	1.40	18.2	0.90	22.1	0.65	23.6	0.35
77	16.5	1.25	21.3	0.85	25.0	0.60	26.3	0.35
75	18.7	1.20	23.4	0.85	26.9	0.60	28.0	0.35
73	20.9	1.15	25.5	0.80	28.7	0.60	29.7	0.35
70	24.1	1.05	28.6	0.80	31.3	0.55	32.0	0.35
68	26.2	1.00	30.5	0.75	33.1	0.55	33.5	0.35
65	29.3	0.95	33.2	0.70	35.5	0.55	35.8	0.35
63	31.3	0.90	35.0	0.70	37.1	0.55	37.2	0.35
危険角度	48°		48°		50°		62°	
標準フック	5tフック(フック質量:120kg)							
巻掛本数	1							

521-75005000

■ 定格総荷重表注意事項

● アウトリガ使用時

1. 定格総荷重表は水平堅土上において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しており、ブーム作業時は主フックとつり具、ジブ作業時は補フックとつり具の質量を含んだ値です。
【70tフック(質量530kg)、48tフック(質量470kg)、25tフック(質量330kg)、5tフック(質量120kg)】
□部分は機械の強度によって、他は機体の安定度によって定められています。
2. 作業半径はブーム、ジブのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
3. ジブの作業半径は 44.5m ブームにジブを装着して作業を行う場合の値です。
その他のブーム長さでのジブ作業はブーム角度だけを基準として行ってください。
4. アウトリガ最縮小張出では、ジブ作業を行わないでください。
5. アウトリガ張出状態によって側方領域でのつり上性能は異なります。従って各々の張出状態における定格総荷重表で作業を行ってください。
また、前方領域でのつり上性能は前方性能の定格総荷重表で、後方領域でのつり上性能はアウトリガ最大張出の定格総荷重表でそれぞれ作業を行ってください。

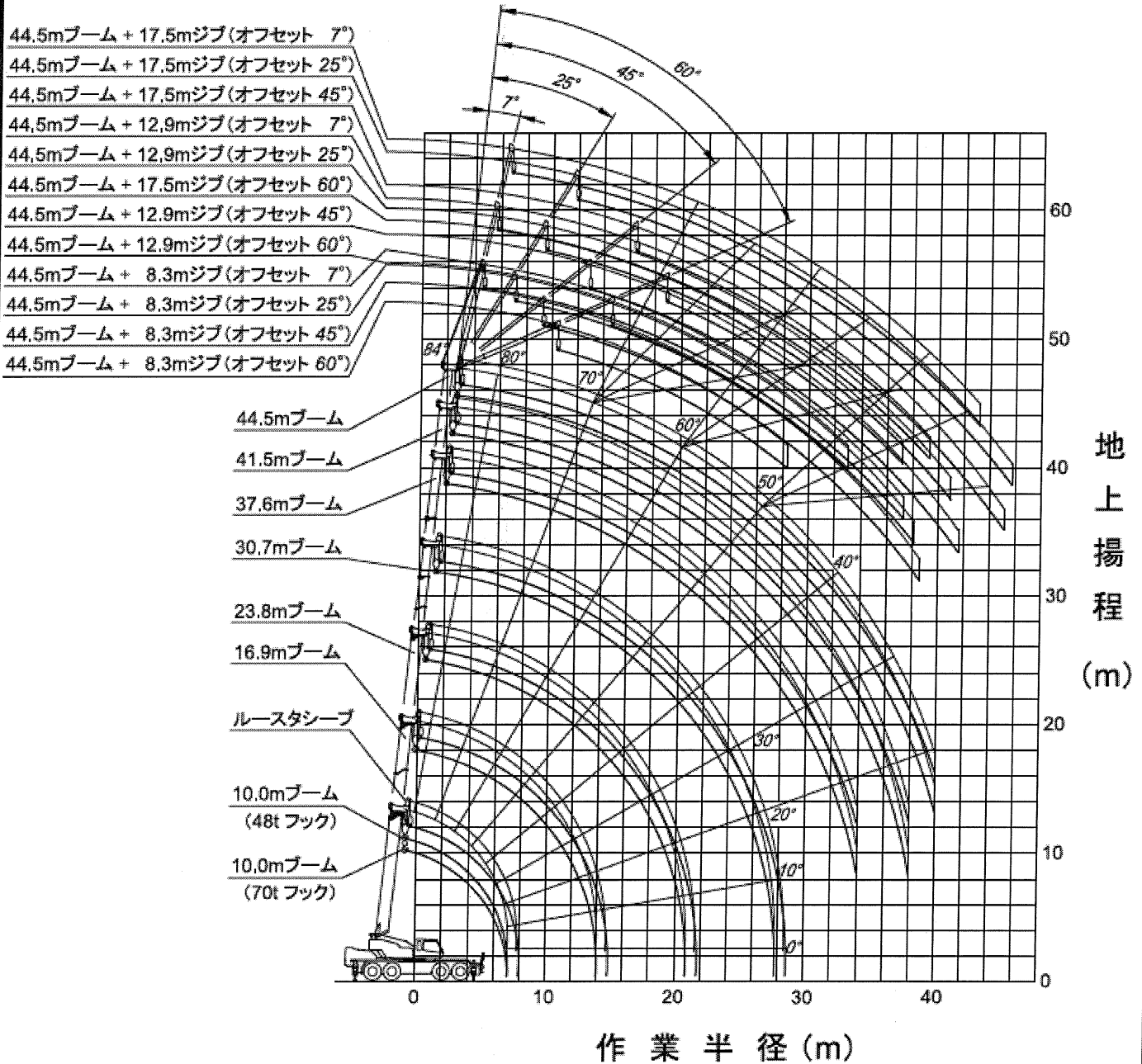


アウトリガ張出状態	最大張出(7.6m)	中間張出(7.2~5.4m)	中間張出(4.3m)	最縮小張出
領域 α°	前方のみ40	30	15	3

6. ルースタシーブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取付けられているフックその他のつり具の質量を差引いた値とし、かつ限度を 5,000kg とします。
【ルースタシーブ使用フック: 5tフック(質量120kg) 巻掛本数1】

7. ブーム長さ、ブーム角度、作業半径、ジブ長さおよび角度が規定の値をこえる場合にはその規定の値と、次の規定の値の定格総荷重のうち小さい方の定格総荷重を目安として作業を行ってください。
8. ジブを装着したままブーム作業を行う場合の定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりフックその他のつり具等の他に 4,300kg を差引いた値とし、かつ上限をそれぞれ18tonとします。
なおジブを装着したままのルースタシーブ作業、およびアウトリガ最縮小張出におけるジブを装着したままのブーム作業は行わないでください。
【ジブ装着時使用主フック: 25tフック(質量330kg)】
9. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
10. フック巻掛本数16本(定格総荷重表 *印) で作業を行う場合はルースタシーブおよびシーブブラケットを使用してください。
【シーブブラケット使用時主フック: 70tフック(質量530kg)】
11. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準巻掛本数以外の掛数で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり 45.1kN (4.6tf) を限度としてください。
12. クレーン作業は風速 10 m/s まで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。
13. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、および正しい使い方を行わなかった場合は転倒または破損します。この場合本機の保証はいたしません。

■ 作業範囲図

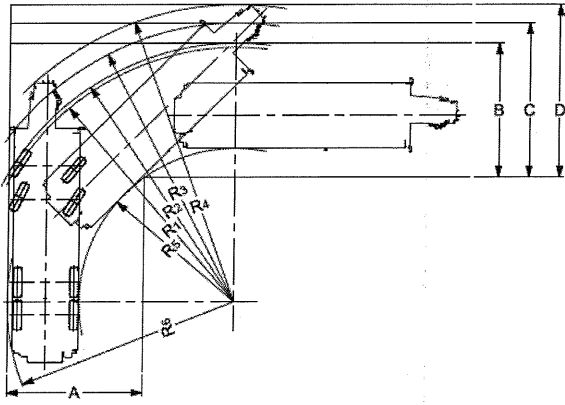


(注意)

- 1) 本図はブーム、ジブのたわみを含んでいません。
- 2) 本図はアウトリガ張出(前方)のものです。

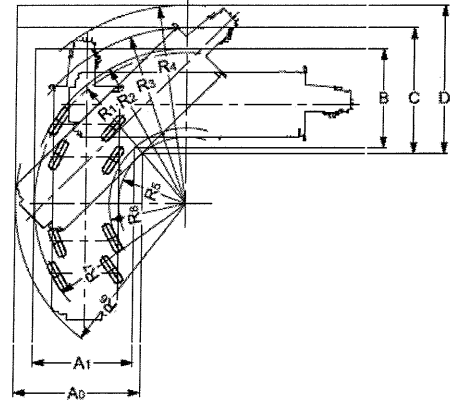
■最小直角通路幅

●4輪ステアリングで右折する場合



- $R_1=11.60\text{m}$
(最小回転半径)
- $R_2=11.80\text{m}$
(最外輪端回転半径)
- $R_3=12.70\text{m}$
(車体回転半径)
- $R_4=13.54\text{m}$
(ブーム先端回転半径)
- $R_5=7.00\text{m}$
(車体内側回転半径)
- $R_6=10.23\text{m}$
(車体後端回転半径)
- $A=6.13\text{m}$ (入口通路幅)
- $B=6.13\text{m}$ (車輪出口通路幅)
- $C=7.03\text{m}$ (車体出口通路幅)
- $D=7.87\text{m}$ (ブーム先端出口通路幅)

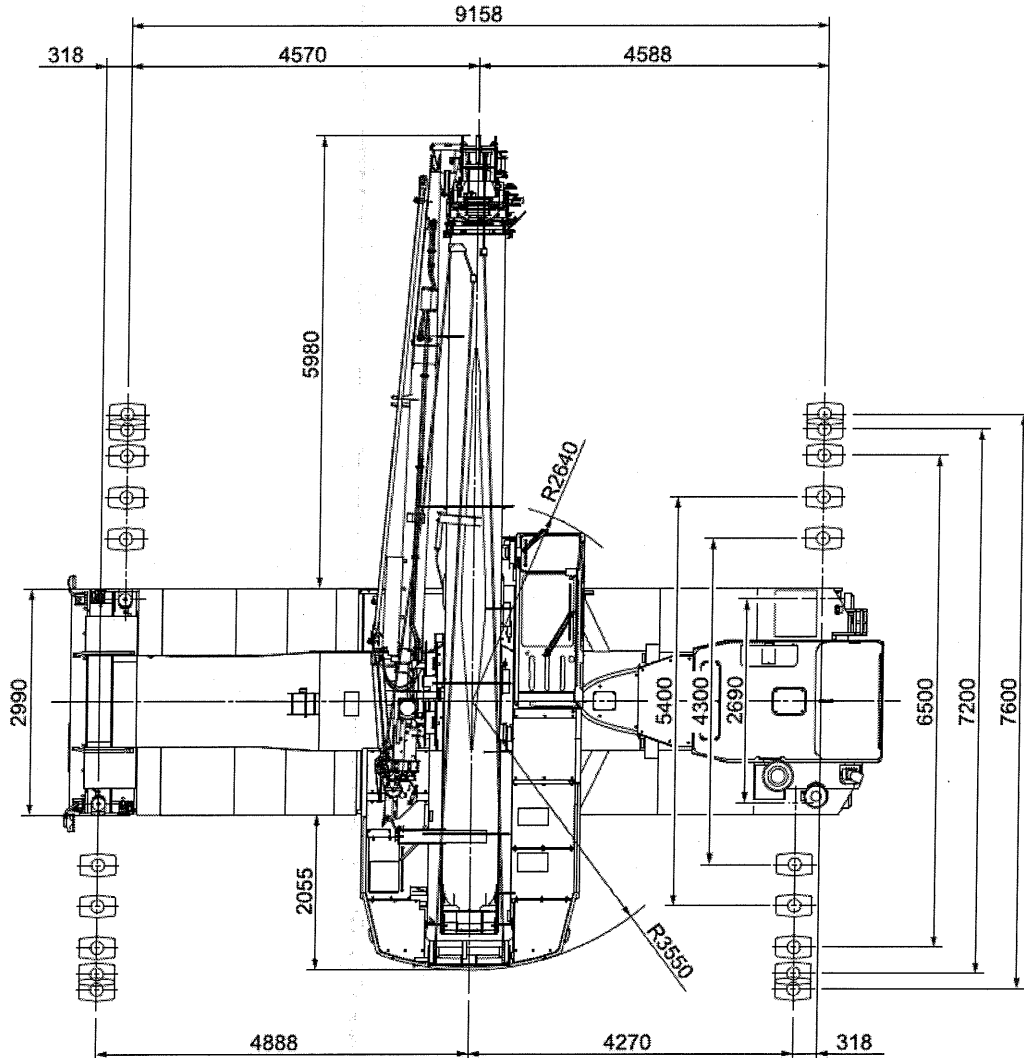
●8輪ステアリングで右折する場合 (構内移動)



- $R_1=6.84\text{m}$
(最小回転半径)
- $R_2=7.04\text{m}$
(最外輪端回転半径)
- $R_3=8.01\text{m}$
(車体回転半径)
- $R_4=9.05\text{m}$
(ブーム先端回転半径)
- $R_5=3.04\text{m}$
(車体内側半径)
- $R_6=7.71\text{m}$ (車体後端回転半径)
- $R_7=6.85\text{m}$ (最外輪後端回転半径)
- $R_8=3.46\text{m}$ (最内輪回転半径)
- $A_0=5.71\text{m}$ (車体入口通路幅)
- $A_1=4.52\text{m}$ (車輪入口通路幅)
- $B=4.52\text{m}$ (車輪出口通路幅)
- $C=5.71\text{m}$ (車体出口通路幅)
- $D=6.75\text{m}$ (ブーム先端出口通路幅)

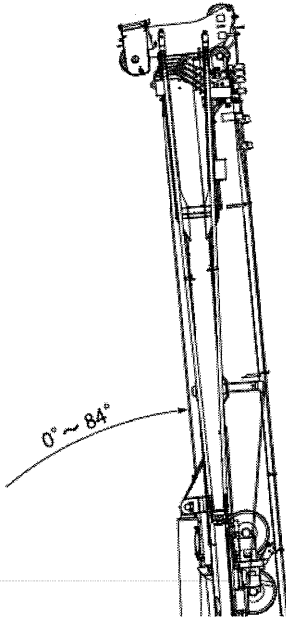
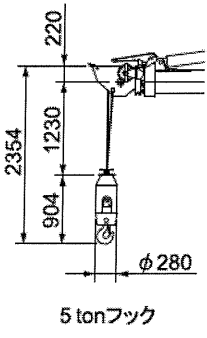
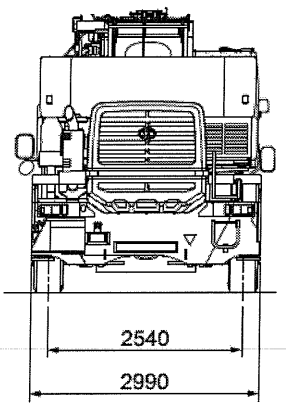
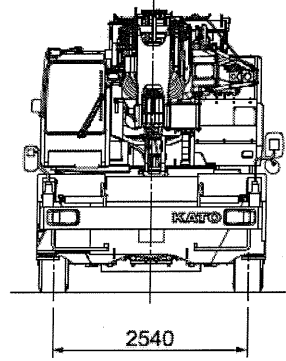
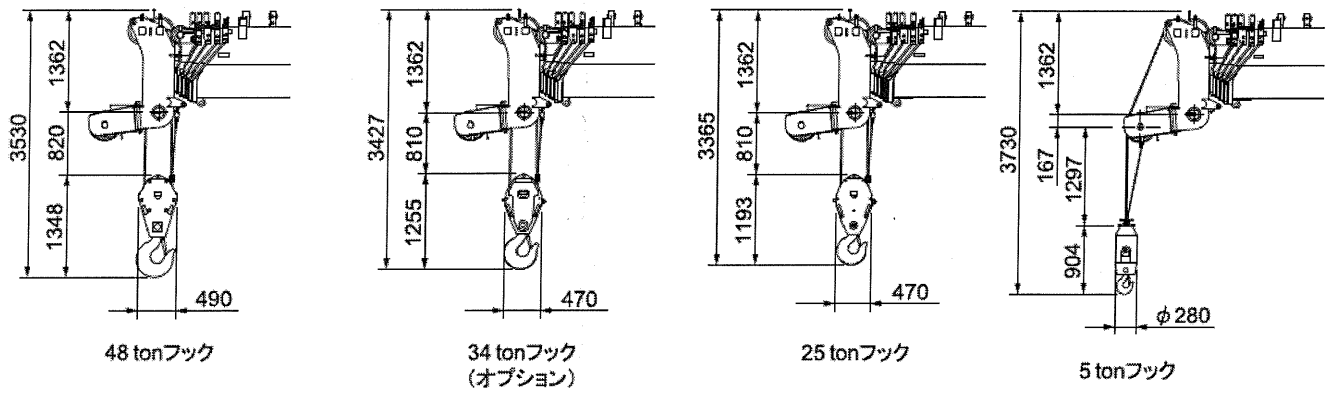
(注) 上記の数値は計算値です

■全体図

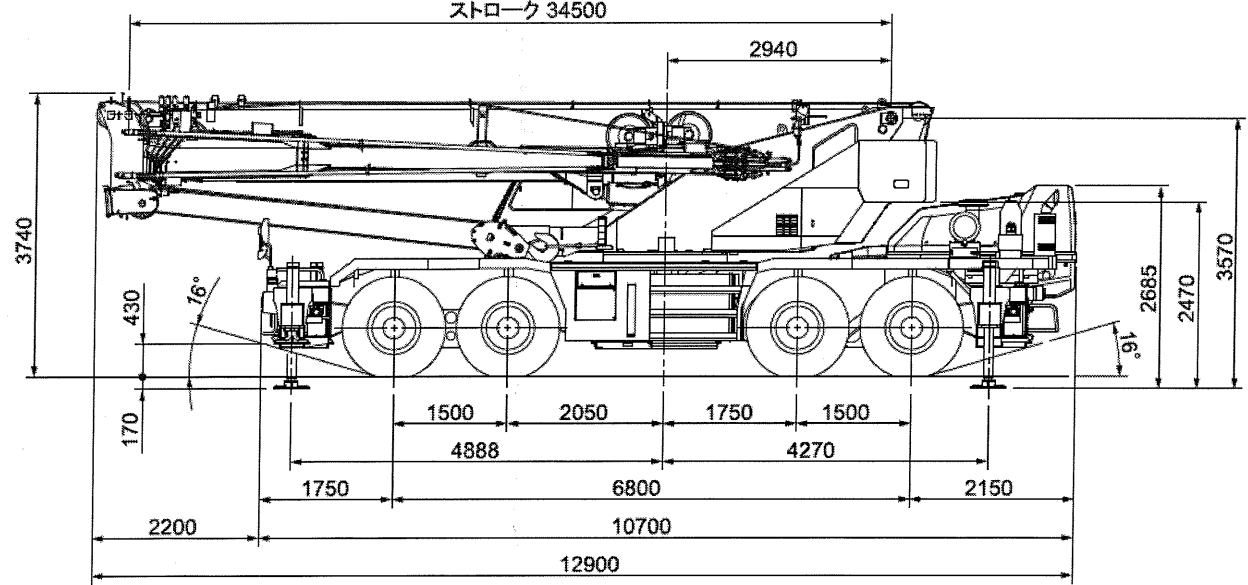


縮尺: $\frac{1}{100}$ 単位 (mm)

■全体図



最小 10000 最大 44500
ストローク 34500



ランブブレークオーバーアングル: 24°
サスペンションロック時全高より: -85mm
(サスペンションシリンダー最縮小)

縮尺: 1/100 単位 (mm)